

たつのまち 議会 だより



辰野町イメージキャラクター
びっかりちゃん

編集・辰野町議会広報編集委員会
発行・辰野町議会
発行日・令和4年8月1日



辰野町議会



Center of Japan
36° 07' 00" N 138° 07' 00" E

日本のど真ん中
信州辰野町

女性タウンミーティングを 開催しました

4月臨時会・6月定例会報告

2

総務産業常任委員会レポート

4

福祉教育常任委員会レポート

5

一般質問

6

女性タウンミーティング開催

13

町民の声

14



再生エネ条例改正 令和4年度補正予算等



令和4年4月20日に第3回臨時会が、5月31日から6月15日まで第4回定例会が開かれ、提案された議案は全て全会一致で可決しました。議案の概要は次のとおりです。

再生可能エネルギー発電施設関連条例を改正（概要）

災害を防ぎ、管理責任があいまいになる施設への規制を強め、管理の適正化を促すため改正しました。
（主な改正点）

- ◇ 設置申請を受け付けない範囲を拡大
 - ・ 地域森林計画の対象森林等で竹木の伐採を伴う計画など
 - ・ 分譲型の低圧分割案件、もしくはこれに類似すると判断するもの
- ◇ 「周辺住民」の定義に「町長が、影響が及ぶと判断する者」を加えた
- ◇ 事業承継について、事業承継前に関係区の同意を義務付けた



令和4年度一般会計・主な補正事項の概要

子どもの医療費無料化拡大や昨年大雨災害の復旧費、コロナ・物価高騰対策予算などを補正しました。

補正1号

町民体育館改修工事	1,700万円
令和3年度災害・林道施設復旧工事	19,551万円
北沢東地区排水管布設工事	11,600万円



北沢東地区工業用地の状況

補正3号

防災行政無線改修工事 （老朽化・災害対策、機能向上）	7,021万円
保育園の紙おむつ回収事業 （自宅持ち帰りをやめ、保育園で処理）	370万円
学校給食会計に材料費高騰分を補助	414万円
町民体育館バスケットゴール改修工事	2,110万円
令和3年度災害・道路河川復旧工事	1,200万円

補正4号

18才までの医療費完全無料化 （1レセプト500円の負担金を無料に）	700万円
低所得子育て世帯へ1世帯当たり5万円給付 （国事業）等	1,040万円
低所得子育て世帯へ1世帯当たり2万円給付 （町独自の上乗せ）	834万円
住民税非課税世帯等へ1世帯当たり10万円給付 （国事業）	2,607万円
コロナ第6波対応事業者支援事業	2,000万円

補正2号

コロナワクチン4回目接種事業	5,023万円
----------------	---------

その他の主な議案概要

議案名等	内 容
保健福祉センター空調改修工事	機械設備を5,332万8千円で加藤設備工業(有)と請負契約
町民体育館改修工事	1億1,583万円で(株)岡谷組辰野営業所と請負契約
北沢東地区排水管布設工事	1億1,220万円で(株)ヤマウラ辰野支店と請負契約
北沢東地区工業用地内町有地の売却	工場用地として利用される区域内の公衆用道路と水路敷計8,188㎡を、進出企業に8,106万円で売却

発議した意見書 (略称・概要)

陳情・請願を受け、議会として以下の意見書を決議し、国の関係機関に送りました。

インボイスの農業・農村への影響緩和措置を求める意見書

来年10月からインボイス制度（適格請求書等保存方式）の導入が予定されているが、農業者の9割が免税業者で、制度の導入は大きな経済負担になる。上伊那にある49の営農法人も消費税負担が増え、経営の危機に立たされる。農業の担い手減少や遊休荒廃地の増加を招き、食と地域に深刻な影響を招く結果になりかねない。農業者、農業法人、農協に対して、影響緩和措置をとるよう求める。

○陳情提出団体

上伊那農政対策委員会
・上伊那農業協同組合



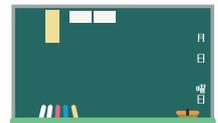
田んぼの除草作業

少人数学級推進・教育予算増額と国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書

40年ぶりに学級定員の見直しが行われ、小学校は5年かけて35人学級になるが、中学校は40人のままである。この間、義務教育費の国庫負担率は、2分の1から3分の1に下げられている。児童の身体距離の確保や新学習指導要領への対応、貧困・いじめ・不登校などの解決や豊かな学びのために、さらなる少人数学級推進と教育予算の増額を求める。また、国庫負担率を2分の1に復元し、拡充するよう求める。

○請願提出団体

辰野町公立学校教職員組合



水田活用交付金見直しへの意見書

今後5年間一度も水張りを行わない農地は、転作交付金の対象から外す方針が示された。上伊那の農業者は長年転作に協力してきたが、見直しにより麦、大豆などの生産面積の激減や集落営農組織の崩壊、離農や荒廃農地の増加など、地域農業の衰退が懸念される。日本の農業補助金は諸外国に比べ極端に低く、生産コストに見合う公的補助や国産品優先への政策転換が求められる。実態を踏まえた交付要件、新たな公的助成と併せた交付条件の見直し、水路等の維持管理への十分な予算確保と国主導による維持管理の構築を求める。

○陳情提出団体

上伊那農政対策委員会・上伊那農業協同組合、
上伊那農民組合

選択的夫婦別姓制度導入について国会審議の推進を求める意見書

現行制度では婚姻による改姓で不利益を被る事があり、近年ではそうした事例は増えているという声がある。国民の間に様々な意見が存在するが、最高裁は、夫婦の氏に関する制度のあり方は国会で論ぜられ判断されるべきものとしている。しかし、国会審議には至っていない。選択的夫婦別姓制度に関し、メリット・デメリット双方の観点から開かれた議論が必要であり、国会審議の推進を求める。

○陳情提出団体

新日本婦人の会辰野支部



意見が分かれた陳情 「私たちはこのように討論、判断しました。」

陳情第7号 選択的夫婦別姓制度の導入について国会審議の推進を求める意見書の提出に関する陳情	
陳情に反対 小澤	夫婦の間に生まれた子は婚外子として「非嫡出子」となり、一般的に母親の姓を名乗るため父親とは姓が異なるなど、将来的に大きな問題で家族制度の崩壊につながる。
陳情に賛成 吉沢	日本のジェンダーギャップ指数は世界120位と低く、夫婦別姓制度がない事も要因だ。これで不利益を被っている人がいるので、国民を代表する国会で議論を進めるべきだ。
陳情に賛成 向山	夫婦別姓の制度化が進まないため、緊急避難的にパートナーシップ宣言制度が進み、全国4割を超える人々をカバーしている。法的に権利を保障できるよう、議論を進めるべきだ。

【賛否が分かれた陳情への賛否は以下のとおり】

○陳情第7号 (陳情に賛成) 吉沢、山寺、瀬戸、津谷、池田、樋口、小林、古村、向山
(陳情に反対) 松澤、矢ヶ崎、舟橋、小澤

陳情審査

陳情第3号
インボイス制度(適格請求書等保存方式)の農業・農村における影響を緩和する措置を求める陳情

◇賛成意見

- ①個人としてはインボイス制度の廃止を求める立場であるが、今回の緩和措置を求める内容にも賛同できる。
- ②中山間地農業を支える集落営農法人の経営悪化を防止する緩和措置に賛成。
- ③日本は食料自給率が低く農業を守る必要がある。食を守り、安心安全に暮らすためには農家を守る必要があり、インボイス制度の緩和が必要。

◇審査の結果 全員一致で採択すべきものと決し、意見書を提出することに決定しました。

陳情第4号
水田活用の直接支払交付金見直しに関する陳情

陳情第5号
「水田活用の直接支払交付金」の見直しを中止し、すべての農家経営への支援策強化を求める陳情

◇賛成意見

- ①直接支払制度の変更により、農地所有者がここ数年翻弄されてきた。打撃を受ける農家が増加するため、見直しをしないことを求める陳情に賛成。
- ②中山間地では直接支払交付金を受け、荒廃地を増やさないように努力し、大切に維持管理してきた。水路は地元で管理し負担が増えているため、国の手当を求めることに賛成。
- ③遊休荒廃地にはダイナミックに補助し、食料自給率を上げる対策をとるべき。
- ④食を守るためにも交付金の見直しは適切ではない。

⑤地元区が使わない水路の維持管理負担が大きいため、国の支援を要望する。

◇審査の結果 全員一致で採択すべきものと決し、意見書を提出することに決定しました。陳情第5号は陳情第4号と共通する部分が多い内容のため、まとめた意見書を提出することに決定しました。

陳情第7号
選択的夫婦別姓制度の導入について国会審議の推進を求める意見書の提出に関する陳情

◇賛成意見

- ①戸籍制度を堅持しつつ制度の意義や必要性、家庭生活への影響を考えた議論を国会に求めている。
- ②制度の表決を求めるものではなく、裁判所の決定においても国会で責任をもって論ぜよとしている。
- ③この陳情は制度について国会審議をきちんとして、方向性を定めてほしいとするものであり、制度の表決を求めるものではない。

◆反対意見

- ①長い歴史の中で作り上げられた制度であり、国会議論の期は熟していない。
- ②通称でも仕事ができ、結婚時に夫婦の姓を話し合いで選ぶことも可能。子どものことを考えると、兄弟で別々の姓を名乗ることの混乱が心配される。
- ③国会で審議が止まっている理由が明確にされておらず、現状の国会審議を求めることは出来ない。

◇採決の結果 賛成3 反対3

◇審査の結果 賛成と反対が同数となったため、委員長の表決により採択すべきものと決し、意見書を提出することに決定しました。

有機農法勉強会

4月12日、「有機農法推進の町宣言」に関する勉強会を開催しました。

勉強会では、「日本有機農業研究会」代表理事の小祝政明氏から「有機農法の今後の取り組みについて」と題したご講演をいただき、有機農法の現状と課題について意見交換しました。



総務課危機管理係との意見交換

6月20日、総務課危機管理係と「地域防災力強化の課題と対策について」の意見交換会を行いました。

町内17区からお寄せいただいたアンケート結果をもとに、避難場所の安全性や防災備品整備への補助、災害時住民支えあいマップの活用など、町の現状や取り組みの説明を受けました。



条例審査

◆議案第17号 辰野町再生可能エネルギー発電施設の設置及び維持管理に関する条例の一部を改正する条例について

◇趣旨 災害誘発の恐れがあるものや、産廃に対する不安等に対して、町民に安心・安全な生活の確保の強化を図るために条例の一部を改正。

主な改正点は、竹木の伐採を伴うものや、分割案件に関する申請は受け付けないとするもの。

問 経費の削減や転売目的などの、いわゆる分割案件は受け付けないという捉え方でよいか。

答 そのとおり。加えて、悪質な業者であっても書類さえ揃えば地域の人々が反対しても通ってしまう。当初、意見書ということも考えたが、判断材料として弱いため、同意という形にした。

問 区によっては独自の条例を作ったり、特別委員会を設けたりして区長独自の判断をしながらもよい制度を作った。制度がない区へのサポートは。

答 区長会の際に同意について説明をした。町として判断材料提供や区長個人が苦悩することなく、区民の総意として受けるので、話し合いをしてもらうサポートをする。

採決の結果、全員一致で可決すべきものと決しました。

改正の背景は？

★2020年、再生可能エネルギー発電設置及び維持管理に関する条例制定。

★しかし、太陽光発電施設建設時に樹木が多数伐採されたり、事業者が施設を分割して売却する事例が増加。

★事業者が先に地権者に話を付けてしまい、条件付きの売買契約等のトラブルが発生。

町民のみなさんへ

太陽光発電は推奨されることですが、
土地の売買は慎重にお願いします。



請願審査

◆請願第6号 「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額」「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願書

◇趣旨 2021年度から5年計画で小学校での35人学級が実現したが中学は40人のまま。新しい生活様式における身体的距離の十分な確保のためにも少人数学級の推進は必要。

問 中学で実施されないわけは。

答 国では中学も進めたいとの発言はあるが予算化されていない。財務省としてお金の出どころが困難である。

問 「働き方改革の捉えは」に対しては。

答 この請願における働き方改革の捉え方は、教職員のゆとりなどの意味合いではなく子どもたちとの時間を多く持ちたいため。

採決の結果、全員一致で採択すべきものと決しました。

高齢者等の外出移動支援に関する 提言のヒアリング

日時 令和4年4月28日

前年度に提出した提言書の進行状況について確認。まちづくり政策課からはデマンド型乗合タクシーの見直し計画案について、保健福祉課からは訪問型サービスDによらない、町民をまきこんだ移動サービスについて検討中との説明を受けました。こども課からはスクールバスの目的外利用の検討は難しいとの回答がありました。





いっ ぱん しつ もん
一 般 質 問

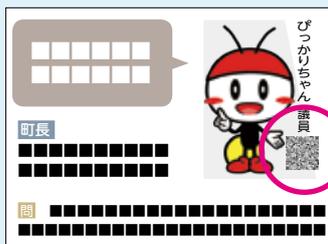
一般質問には 12 名の議員が登壇いたしました。ぜひ各議員の内容をご覧ください。

ホテルが飛び交う自然豊かなまち		
下辰野商店街の景観について	小林	P7
町内での地域猫の状況について	小林	P7
情報発信について	舟橋	P8
板沢地区最終処分場建設計画について	向山	P9
大雨災害対策について	吉沢	P10
松食い虫被害状況と今後の防除方法について	樋口	P12
ど真ん中プロジェクトの先にある町の未来について	樋口	P12
森林環境譲与税について	池田	P12
みんなが活躍できるまち		
竜東地区の地域活性化について	古村	P10
森林整備と担い手育成について	古村	P10
保健指導員のあり方について	山寺	P11
いつまでも健やかに暮らし続けられるまち		
高齢者のサポカー限定免許について	松澤	P7
地区社協について	松澤	P7
マイナンバーカードの健康保険証の利用について	舟橋	P8
福祉医療費給付事業の拡充について	瀬戸	P9
国民健康保険税の被保険者支援について	瀬戸	P9
障がい者・低所得高齢者等の住まいについて	瀬戸	P9
物価高騰対策について	吉沢	P10
辰野町の食育推進計画について	山寺	P11
役場庁舎にエレベーター設置を	山寺	P11
障がい者駐車場に屋根の設置を	山寺	P11
物価高騰による生活者支援について	津谷	P11
動物福祉のあり方について	津谷	P11
中高齢者の難聴支援について	津谷	P11

次代を担う人材が育つまち		
奨学金返還支援取組について	松澤	P7
少子化対策として、子育て支援充実の町を目指して	小林	P7
川島小学校統合について	小澤	P8
安心して子どもを預けられる保育園の整備と運営について	瀬戸	P9
平出保育園のあり方について	向山	P9
川島小学校統廃合問題について	吉沢	P10
学校管理下における子どもたちの安全について	津谷	P11
ヤングケアラー支援の推進について	津谷	P11
川島小学校の統合問題と未来の子どもたちへの約束について	樋口	P12
学校の働き方改革と部活動について	池田	P12
活力と魅力ある仕事のあるまち		
森林の活用と育成、松くい虫対策について	向山	P9
集落支援員活用事業について	山寺	P11
自治体の給付金誤送金について	池田	P12
安全で快適に暮らし続けられるまち		
道路網計画策定を受けての町の課題	小林	P7
デマンド型乗合タクシー実証実験出前講座について	小澤	P8
道路問題（羽北地区）について	小澤	P8
今後の道路整備計画について	舟橋	P8
水道法改正と広域化について	向山	P9
デマンドタクシー改善策について	吉沢	P10
告知システムの不具合について	古村	P10

一般質問を動画でご覧いただけます

- ①お手持ちのスマートフォン、タブレットで議員写真横のQRコードを読み取ってください。



- ②議会一般質問録画中継のページに移動します。定例会における一般質問の様子をご覧ください。



※QRコードリーダー（QRコード読み取りアプリ）がダウンロードされていないとQRコードの読み取りができないことがあります。ダウンロードされていない方は、事前にQRコードリーダーをダウンロードしていただくようお願いいたします。
 ※動画視聴には通信料が発生しますので、Wi-Fi等の利用を推奨いたします。
 ※各議員のQRコードが読み取れない場合は、本誌表紙のQRコードを読み取り、議会一般質問録画中継へ移動し、ご視聴ください。
 ※QRコードから該当ページを視聴できる期間はおよそ一年間です。 ※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

奨学金返還支援の取り組みは

町長

新たな給付型の支援金を検討している



松澤千代子議員

問 若者の地方定着推進施策として上伊那広域の多くの市町村が実施している奨学金返還支援に、取り組む考えは。

町長 奨学金返還支援も考えられるが、家庭への支援が必要であると考えている。今年度は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源に、広く学生向けの給付型の支援金を検討している。併せて昨年に引き続き、学生エール便として町の特産品の詰め合わせを送ることにしている。

課長 若者人材確保事業については、上伊那広域で実行委員会を立ち上げ、就活合宿・しごとフェスなどで強化している。上伊那では8市町村中5市町村が行っている奨学金返還支援だが、親が返済をする教育ローンについても金融機関への調査を行い、施策を検討していく。

高齢者のサポカー限定免許について

問 5月13日から施行の改正道路交通法に「安全運転サポート車限定の免許」が導入された。高齢者の免許更新やサポカーへの支援は。

課長 期間延長されていた購入補助は、昨年11月で終了したが、免許返納の場合は、経歴証明書が発行され、県警のシニアサポート制度が利用できるのので、さらに広報していきたい。

地区社協について

問 町が考える地区社協の姿とは。

課長 現在地区社協は8区に組織化されており、残りの9区では委員会等が「ふれ愛サロン」を中心に地域の実情に応じた活動をしている。いずれも人と人とのつながりを通じて、お互いに支え合いながら住み慣れた地域で暮らし続けられるようにとの思いが込められている。介護予防事業は、外出の機会を作り、日常生活の中で人と人とのつながりの場を作る。住民の健康な心身を維持できるように協力体制を図っていきたい。



ふれ愛サロン北部いきいき会

国道153号の安全性確保は

町長

生活道路として力を尽くしたい



小林テル子議員

町道路網計画策定後の3路線の進捗状況は

課長 両小野バイパスは今年度、概略設計を実施する。下田踏切周辺は調査設計を予定。今村までの道路はこれから。



左側(東側)に歩道のない国道153号

問 国道153号の主要部分についての記載はないが、生活道路としての危険

性・渋滞・事故多発・災害時対応に関する町の認識は。

課長 町民のための道路の安全性確保は優先課題。宮所は歩道を含め道路拡幅工事に着手中。新町の歩道設置は平成30年から県に要望をしている。

要望 要望が実現に向かうよう行政、地域で進めるべき。

少子化対策として出産子育ての支援体制は

課長 妊婦の検診費補助、パパママ講座、育児相談等妊娠から出産まで切れ目の無いサポート体制ができている。また、未満児保育や延長保育、学童クラブで子育て支援、子育て支援センターで交流や相談も実施。

問 「結婚&子育て応援サポートブック」を作った目的は。

課長 移住・結婚・子育ての支援策をまとめて冊子にした。子育て、仕事の両立まで、問い合わせてもらうきっかけになれば。

要望 若者支援としてママサポ・ファミサポを町中に出向いて周知を。

課長 ほたる祭りでアピールする。またトビチ商店街でのファミサポへの協力店が見つかった。

下辰野商店街の景観について

問 景観計画に照らして、下辰野商店街の駐車場整備を町として進めては。

課長 地元の意向を聞きながら、町としても関与して商店街存続のための駐車場整備を進めたい。

問 辰野駅前、辰野町の顔。周辺に草が繁茂しているが管理の主体は。

課長 町の管理で6月には草刈りを実施。

要望 清潔で気持ちの良い駅前商店街で他所から来る人を迎えられるように、早めの対応を。

地域猫についての対応は

課長 詳しく把握していないが、広報していく。

小澤 睦美 議員



川島小学校統合に関する議案の議会上程を9月議会に

町長
12月定例会で議案を提出したい

川島小学校統合について、統合はいつか

問 児童や保護者の不安解消のためにも、次期定例会9月議会に議案を上程するべきでは。

町長 12月定例会に議案を提出する予定。

西小学校通学の川島区在住児童の通学環境整備を

問 統合までの回数券によるバス利用、スクールバスの利用について、町との協議結果は。

町長 スクールバスは無償、町バスは回数券で利用できるようにする。早ければ7月から運用する。

デマンド型乗合タクシー出前講座の全区実施を

問 令和4年10月からの運行形態等見直し実証実験についての出前講座が、小野区・川島区・上島区・唐木沢区・今村区が除外されているがなぜか。

課長 従来の仕組みと新しいシステムを比べ、より利便性の高いものにしたいため、見直しは現在の運行地域を対象にした。将来的には、小野区・川島区など5区と意見交換したい。

問 公共交通体系全般について検討すべきでは。

課長 見直しは、地域のニーズを踏まえる必要がある。朝晩は通勤通学者の利用があるが、バスの定時利用が見込めない昼の時間帯は、デマンド型乗合タクシーの運行も考えられる。



デマンド型乗合タクシー

羽北地区道路渋滞解消の取組み状況は

課長 現在の渋滞対策として、下田踏切から国道への道路について、事業採択された。

問 町道12号線改良工事の進捗状況は。

課長 現在も継続して協議をしている。

問 早期の渋滞解消に向け、新たな方策は。

課長 国道においては、右折レーンの新設が考えられる。県道も右折レーンが考えられるが、時間内に車の右折する量が限られている。今までも解消に努力してきたが、出来ないのが現状である。道路の新設についても、関係区と協議はしているが、難しい状況。

舟橋 秀仁 議員



辰野バイパス事業化への町長の意気込みは

町長
難しい課題も出てくるが強い覚悟で進めていく

問 両小野バイパスと国道153号から東の県道と地辰野線の事業の進捗は。

課長 両小野バイパスは塩尻市と共に調査結果を検討し進めていく。今年度概要設計を行う予定。県道と地辰野線の国道153号から下田踏切までの道路改良及び踏切拡幅は、まだ用地測量の段階。今後も羽場区並びに羽場道路委員会とともに進めていく。

要望 辰野バイパスに関しては、町が主導的立場に立ち、地域の道路委員会等と今後の具体的な進め方のリードを。

マイナンバーカードの健康保険証登録について

問 町でのマイナ保険証の普及率は。

課長 マイナンバーカードの普及率は47.5%。その約半分が健康保険証を登録していると考えている。

問 マイナ保険証を利用できる医療機関は。

課長 辰野病院をはじめ、薬局含め全部で5カ所。今年度末までの設置義務化、また補助金制度もあり今後増加すると思われる。

問 マイナ保険証の普及に向けた活動は。

課長 各地で開催されるイベントや出前講座などで案内していきたい。

要望 利用者の診療費負担増もあるので、登録時には必ずメリット、デメリットの案内を。



役場内のマイナ保険証登録用PC

防犯情報の提供について

問 4月27日に箕輪で窃盗を犯した犯人が、羽場で車を乗り捨てて逃亡。地元への情報提供がなかったが。

課長 警察から町には情報提供はなかった。警察は必要な範囲で個別対応し、町への注意喚起の依頼は状況に応じて判断することのこと。警察からの情報で、緊急性や町民の安全に必要であれば最大限の努力で知らせる。

正規保育士の増員を



瀬戸と純 議員

町長
 多様な働き方に対応できるように努める

保育園の再整備は、地域住民と共に進めるべきだ

問 平出保育園再整備の説明は、東部保育園との統合ありきを感じた。「平出地域に保育園を」との住民の意見をしっかり受け止め、用地選定も住民の意見を聴き調査を進めるべきだと考えるが。

課長 職員間での検討では、用地取得は困難となった。東小学校との複合化と東部保育園との統合の二択に絞った。今後も懇談をしていきたい。

開園時からの要望である東部保育園駐車場の早急な再整備を



すれ違いができない 駐車場入り口 (東部保育園)

課長 子どもが減り、送迎の時間が分散するようになった。保護者会から要望は出していない。平出保育園との統合の際に検討していく。

障がい者及びひとり親家庭の親の医療費窓口無料化の実現を

課長 ペナルティー（国庫負担金の減額＝罰則）で800万円ほど減額される。踏み切れない。

国民健康保険税の均等割減額を18歳まで引上げを

問 今年度から未就学児（小学校入学前の児童）までの均等割額の減免が実施される。収入のない子どもへの課税はすべきでない。まずは、18歳までの均等割総額300万円の半額150万円の町負担を実施すべきだ。

町長 金額の大小にかかわらず、基金の取崩しは厳しい状況。

障がい者のグループホーム等の増設を

課長 現在、町内に2カ所ある（定員各5人）。そのうち1カ所は老朽化している。運営事業者へ新設・増設を働きかけ、実現へ努力する。

まちなかへの低所得高齢者の住まい（町営住宅）の整備を

課長 民間アパートの借り上げの事例がなく検討中。公共施設長寿命化見直しの案の一つとして対応したい。

板沢処分建設計画 どう進めていくのか



向山光 議員

町長
 交渉にも積極的にかかわる

町長 調査は地下水の浅い部分の解析であり、地下水の深い所の水の判断がついていない。井出の清水への影響はないと結論付けるのは少々強引だ。

問 建設阻止期成同盟会の研修会で、赤羽信大名誉教授も分析のあり方について懸念されている。今後どう進めていくのか。

町長 調査費の当初予算からの削除は運動の大きな成果だ。調査結果にかかわらず建設反対の姿勢は変わらない。建設計画の撤回を勝ち取りたい。

森林・林業ビジョンの策定、松くい虫対策は

課長 森林・林業の課題を明らかにし、長期的視点から森林の果たすべき役割を明らかにしていく。

問 担い手・人材の確保、育成をどう進めるのか。

課長 若い従事者も増えているが、長期的に確保していくには、上伊那森林組合との連携も必要と考える。

問 松くい虫被害にどう対応する。

課長 被害範囲が広がっているので、早期発見、早期駆除を基本に防止に努める。アカマツ林の間伐や緩衝帯施業、樹種転換の際の処理について森林環境譲与税の活用など県等とも検討していく。



拡大が進む松枯れ被害（中信地区）

水道法改正を受けての町の上水道の課題は

課長 地形的要因で小規模な施設が広範囲に点在している。水質の強化や施設の耐震化、老朽化施設の更新、経営強化、漏水対策などの課題があり、昨年度行った経営診断により対応していく。

平出保育園の再整備に関する課題の検討状況は

課長 東小との複合化は園児室や調理室、園庭の確保など課題がある。

意見 未来志向の園に向けて再検討をすべきだ。

吉沢 光雄
議員



物価高騰対策で
給食費引下げを

町長
食材高騰分は補助し
値上げを抑える

要望 町の小学校給食費は郡下で一番高く、最低額の町と比較して児童一人あたり年 12,123 円高い。中学校は郡下で 2 番目に高く、同じく年 18,356 円高い。郡下 4 町村が以前からコロナ対策で、児童一人あたり数千円～1 万円以上給食費に補助している。町もぜひ補助を。



辰野中学校の給食風景

全世帯に商品券配布は

課長 一律給付は今回の交付金活用方針と異なる。

はば広い事業者への支援を

問 多くの事業者がコロナと物価高騰で苦境に。さらにはば広い支援ができないか。

課長 関係者で協議し、至急支援策を検討する。

要望 この 1 年間に積み増した基金 3 億 3 千万円の一部も使い、支援を強めて欲しい。

デマンドタクシー改善

問 ドアツードアなどの改善は歓迎するが、1 回料金制や障がい者等の割引制度は残すべきでは。

課長 定額制の導入を視野に入れている。料金は割引制度を含め検討中。

川島小学校統廃合問題

問 地元の区や保護者、住民の 77% が存続を求める状況が変わらなくても、廃校を提案するのか。

町長 川島小学校は良い学校だ。住民の思いは複雑だと思う。児童数が少ないので提案する決意だ。

問 教育委員会は川島小を、子どもの学びにとって好ましい状況でないと評価しているが、学力が劣る、問題行動が多いなどのデータがあるのか。

教育長 川島小が少人数のため、町内他の小学校と比べたデータはあり得ないし、無い。

問 今回の統廃合に財政上の理由は全く無いのか。

町長 あくまで子どもたちの学びのためだ。

その他の質問

- ・大雨災害対策

古村 幹夫
議員



人口減少が進む中
竜東地区のこれからの課題対策は

町長
継続的な道路・教育
環境整備などを行う

竜東地区の地域活性化について、どのように考えるか

町長 町の誇りとする地域。今後の課題への対策として主要幹線道路の歩道拡幅などの継続的な改良、市街地の道路整備と未利用地の活用促進、保育・教育環境の整備、防災対策など効果的に推進していく。

問 沢底区での人口増加の取り組みはできないか。

課長 空き家情報の提供や、個々の所有者への意向調査などに協力を求め、移住定住施策のとり組みに空き家の活用を提案していく。

森林整備担い手育成のために

問 チェンソー特別教育の受講者枠拡大を求めるが町としての考えは。

課長 安全な作業のためにも必要。町が主催する特別教育へ山林組合や区関係者以外にも参加を呼びかけていく。予算の中で資格失効者への補講も考えていく。

問 森林作業に使用する刈払機の安全衛生教育の実施を町として行えないか。

課長 各地区の山林組合などから意見を聞き、森林環境譲与税の活用なども含めて検討していく。



正しい知識で安全な作業を

問 万能ウインチや切創防止ズボン購入に補助を。

課長 現在のところ予定はしていない。

4 月 23 日に発生した建物火災における
はたるネット・メール配信遅延の原因は

課長 消防連携システムの端末が、未接続時間が一定時間経過すると停止状態となる設定になっていた。保守作業中にこの設定を有効にしてしまったと推測される。今後業者による保守作業の際に、設定の点検回数を増やし再発防止に努める。

保健指導員のあり方についての検討は

町長

今年度から検討を始める



問 保健指導員のあり方検討委員会の設置の考えは。

課長 あり方検討委員会の設置の考えはないが、先の区長会で、意向調査を行う旨を伝えた。

要望 高齢者を支えるために、保健指導員は必要という意見や、廃止して組織を新たにつくるべきという意見もある。慎重に検討を進めていただきたい。

食育推進計画について

問 食育について学校の取り組みは。

課長 学校では「給食だより」を発行し、給食週間などを行う。「弁当の日」を実施したりして、家庭での関心を持ってもらっている。

問 子どもの親や祖父母の食育を、町の公民館講座に計画的に取り上げてもらえないか。

課長 食育の大切さは十分理解している。来年度から考えたい。

集落支援員活用事業について

問 昨年度各区で開催した「寄り合い会議」の状況は。

課長 昨年度北大出、川島、小野、平出、羽場、新町の6区で開催した。新たに、様々な地域の課題が出た。

問 地域の課題を解決するのに、地域集落支援員の設置に力を入れるべきと思うが。

課長 区長会を通して推薦を呼びかけていく。区での集落支援員の位置付けや課題設定など、説明を丁寧に行なっていく。

町民からの要望2件

問 役場庁舎にエレベーターの設置を。

課長 昨年度、基本設計業務を委託して、工事費が数千万かかることがわかった。今後の財政状況を見て早期に実現したい。

問 役場の障がい者駐車場に屋根の設置を。

町長 設置に向けて検討する。



早期に役場庁舎にエレベーターの設置を



役場の障がい者駐車場に屋根の設置を

物価高騰における生活者支援の考えは

町長

総合的に判断し効果的な事業に取り組む



問 生活者や事業者を支援するためにプレミアム商品券の再販を求めるが、予定は。

課長 物価高騰対策として前向きに検討する。町主催で関係者を集めて、消費動向を見ながら効果的な支援を相談していく。

学校管理下の子どもたちの安全は

問 5月に塩尻市内の小学校で起きた不法侵入者による児童暴行事件を受けて、町の対応は。

教育長 学校内の日報で周知をして注意喚起を図り、危機管理マニュアルを再確認した。今年度、防犯カメラを設置するが、地域の見守りも大切に注意喚起していく。

ヤングケアラー支援の推進は

問 今秋に予定の県が実施する実態調査と町の連携は。

教育長 非常に慎重にしなければならない。実態調査について県教育委員会には、調査結果を福祉施設・教育施設にどのように活かされるのか明確にすることや、文言などの表現を選んでほしいなどの要望をした。町の校長会で児童生徒への発信の仕方などを詰めていく。

動物福祉の在り方は

問 マイクロチップ装着の周知は。

課長 町のホームページや狂犬病の注射の際にも案内を始めた。

問 ペットの同行避難など防災に関する町の考えは。

課長 町の地域防災計画や避難所開設マニュアルでは、飼い主がペットを連れて一緒に避難し、避難所の外に居場所の確保をする同行避難を推奨している。今年度予定している防災訓練の中でもマイタイムラインの中にペットに関する記入なども検討する。



犬猫用マイクロチップ

中高齢者の難聴支援は

要望 巡回型住民健診や特定健診の場に認定補聴器技能者による相談窓口の設置を。期間を限定して補聴器購入助成の試験期間の検討を。

樋口博美
議員



川島小学校を早く
統合してほしいと
いう声があるのか

町長

そういう声を伝える
人もいる

川島小学校の統合問題について

問 辰野町の教育方針は。

教育長 ①自分を大事にし、自信を持つこと。②あきらめない心を持つこと。③地域を理解すること。

問 あきらめない心とは。

教育長 横の繋がりを大事にすること。学びでやり遂げることが大事。川島小学校は悪い学校ではないが、学びを考えたときに限界である。

問 川島小学校があることで何か問題があるのか。

教育長 より良い学びを提供する。川島小学校に通う子どもと同数の子どもが西小学校に通っている。

問 選択肢ある学びは残すべき。未来志向の学校は。

教育長 個に応じた学び、個に応じた指導、協働の学びが大切。両者が成立させる学び。

提案 協働、共創の町づくりを目指すなら、若者の声を聞き未来の学校づくりを目指すべき。

松くい虫被害防除について

問 各区との連携による監視体制は。

課長 区長会等で呼びかけている。声があれば拡充していく。

問 被害木中心に半径 10 m伐採して、防除帯を作る考えは。

課長 協議会で検討していく。



小野公園の被害木と一般的な燻蒸処理

ど真ん中プロジェクトが目指す町の姿について

課長 一人一人が住み続けたい町づくりを目指す。

問 大型商業施設のど真ん中店誘致を。

課長 関係機関と打ち合わせをしてみる。

問 温泉を利用した介護福祉センターの建設は。

課長 現時点で構想は無いが、将来的に検討する場があれば検討したい。

池田睦雄
議員



山口県の
給付金誤送金報道を
受けての対応は

町長

人為ミスを前提に複数
人の確認と相談の徹底

町長 ミスは自分では気づきにくい。日頃から複数人数の確認と、疑問に感じたときは自分だけで処理せず、相談するよう指示している。この事件を他人事とせず、さらに気を引き締め業務にあたる。

問 経理処理の精度向上の考えは。

町長 経理に限らず明るい挨拶推進などプロジェクトで取り組み、職員の働きやすい職場環境作りで組織力を強化している。

森林環境譲与税の活用状況は

問 譲与税の森林整備状況は。

課長 森林所有者の意向調査後、令和 6 年度から森林整備に活用する。

問 基金積立の課題は。

課長 昨年は約 635 万円、令和元年からの総額は約 2,341 万円。森林整備に活用する。譲与税活用で松枯れ調査



備にかかる事業費に対し各年度の譲与税だけでは不足すると懸念され、できるだけ基金を積立てたい。

問 林道の側溝整備に譲与税活用は。

課長 災害防止面から可否を研究する。

要望 都市部に森林資源活用の働きかけを。

学校の働き方改革と部活動の課題は

問 学校の働き方改革の現状は。

教育長 文科省と県教委は喫緊の課題と認識し、様々な対策を打ち出すが根本的な解決に至らない。教員は本業の授業以外に生活指導ほか様々な業務で多忙となっている。

問 部活動改革の実施方法は。

教育長 部活動は教育課程ではないが、学校教育の一環として部活動の役割は大きく、先生を割り振りしている。地域団体ほかの協力を得て工夫をして行うなど、中高生に良い部活となるような改革にしたい。



辰中サッカー部の放課後部活

問 地域団体活用の課題は。

教育長 地域移行など打ち出されているが、放課後と休日の指導者が異なると指導連携などに課題が多い。

女性タウンミーティング開催

7月2日（土曜日）午後1時半から町民会館大会議室において、子育て世代19名の女性にお集まりいただき、ワークショップ形式で開催しました。子育て、保育園、小中学校、地域コミュニティ、町議会への要望など、様々なご意見をいただきました。今後の議会活動に反映させていただきます。議会としても、初めての取り組みで緊張しましたが、みなさんに活発な意見交換をしていただき、有意義なひとときとなりました。詳細については改めて報告いたします。

参加者の感想

参加者の皆さんの意見、要望がテーブルの上に山積みになりました！

参加者の感想

働きながら子育てしているお母さん方と意見交換できて、とてもいい機会でした。辰野町についてじっくり考えることも少なく、広い辰野町の中で地区が違っていると、困っていることにも違いがあるんだな〜と発見したり、女性ならではの視点というのがとても面白かったです。



女性タウンミーティングプロジェクトメンバーより

参加された皆さんが、「あったらいいな」「こうして欲しい」の要望を生き生きと語っていました。子育て世代の女性の声を直接聞くことができ、初開催の意義はあったと感じました。しっかり受け止め提案に繋がりたいです。

小林テル子議員



議会訪問

中谷勝明様から写真集「辰野のほたる」を寄贈いただきました。ほたる祭りの歴史、各時代のホテルの写真等、町の歴史を見ることができました。



瀬戸 伸一さん(赤羽)



“ほたる”の観賞は町内者のみということを知らずに町外・県外から来た人達は、乱舞する“ほたる”を観ることができたのだろうかと心配しました。また、じもとイチは、沢山の人出があり賑やかでした。できれば二週間の開催をお願いしたいと思いました。

赤羽 秀子さん(平出)



今年のほたる祭りのじもとイチは、出店数も増え、会場が賑やかで来場者も多く活気にあふれていました。2回目の開催は良い結果だったと思います。1つ課題は2日目午前中に色々なものが完売になり、来られた方々のがっかり感を思うと、改善方法の検討をしてほしいと思いました。

河西 陽子さん(平出)



ほたる祭りに思う



今年は、ミャンマーから町内の介護施設へ介護の勉強に来ていた4人の実習生を、友人と共に案内しました。整備されたほたるの公園に驚き、たくさんの蛍の輝きに感動した様子。コロナ禍のため、日本に来て久しぶりの外出だった由。郷愁に浸った様子でした。純粋に観賞だけの祭りも乙なものでした。

百瀬 将晃さん(上島)



今年のほたる祭りは、松尾峡のホテル観賞をして、じもとイチへも行きました。

その他辰モン探しや駄菓子屋さんなど、商店街を使ったイベントもあり、久しぶりに賑やかな人通りの本町通りが見られて嬉しかったです。なかなかやりたいことが出来ず、我慢も多いこの頃ですが、出来ることをたくさん考えてお祭りを盛り上げてくださった方々に本当に感謝しています。

人口減少の今こそ、祭りの従来のやり方を見直す転換期だと思います。子どもが体験したほたる祭りや御柱祭の楽しかった思い出は、必ず心に残ります。そこにふるさとへの愛着が湧くのだと考えます。

親子で楽しんだ祭りのスタンプリューを思い出してくれるような子育てをしていきたいと思っています。

藤澤 千恵さん(上辰野)



次回定例会のご案内 9月定例会予定

- 開 会 8/30(火)
- 一般質問 9/6(火)・7(水)
- 委員会審査 9/8(木)・9(金)・12(月)
- 閉 会 9/16(金)

※確定した日程は議会ホームページ等でご確認ください

編集後記

議会だよりの役割は、議会の動きを町民に伝えるとともに、議会に対する町民の関心を引き出し、町民と議会を結ぶ重要な橋渡しを担っています。議会のトピックスはもとより、町民の意見がどこに向かっているかをリサーチし、スポットを当て、紙面を通じて全町民と情報共有し具現化に努めます。編集委員会は紙面内容の充実を考えていきますので、みなさまのご意見やご要望をお待ちしております。

議会広報編集委員 池田 睦雄

皆様からのご意見・ご要望お待ちしております。議会事務局までお寄せください。